

化学プロセスのスケールアップ、 コスト試算および事業採算性検討

ホームページURL: <https://www.rdsc.co.jp/seminar/240506>

- ◆日時: 2024年5月14日(火) 12:30~16:30
- ◆受講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円**
- ・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円)**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】

(株)KRI 環境化学プロセス研究部 主席研究員 阪井 敦 氏

<ご専門> 化学工学

<学協会> 化学工学会 開発型企業連携研究会 代表幹事
米国プロジェクトマネジメント協会会員

【受講対象】

化学・石油化学、エネルギー・環境関連などの業界において、研究企画、研究開発、生産技術開発、プラント設計のご担当の方々、製造原価・採算性の評価力及びプロジェクト管理力の強化をお考えの方々。

【習得知識】

- ・プロジェクトマネジメントの概要と重要性
- ・スケールアップの難しさと重要性
- ・開発ステージにマッチしたフィジビリティ検討
- ・事業採算性検討と投資意思決定の考え方

【講座の趣旨】

まず、プロジェクトマネジメントの概念と重要性を説明する。次に、スケールアップの難しさと重要性について述べ、研究のステージに合わせた事業採算性の検討の方法、ディスカウント・キャッシュ・フロー法(DCF法)を用いた事業採算性検討、投資意思決定について述べる。

【プログラム】

1. 実用化への第一歩スケールアップ
 - 1.1 化学者の視点(プロダクト)と化学工学者の視点(プロセス)
 - 1.2 スケールアップの難しさ
 - 1.3 連続プロセスとバッチプロセスのスケールアップ
 - 1.4 実験室と実設備の違い
 - 1.5 スケールアップのためのデータ取得
 - 1.6 モデル化
2. 開発ステージにマッチしたコスト試算
 - 2.1 原価計算の目的
 - 2.2 研究開発段階における超概略コスト試算
 - 2.3 開発試作段階におけるコスト試算
 - 2.3.1 物質収支と変動費の推算
 - 2.3.2 設備投資額の概算
 - 2.3.3 製造コストの概算
3. 事業採算性検討と投資意思決定
 - 3.1 事業採算性検討に必要な値
 - 3.2 ディスカウント・キャッシュ・フロー(DCF)法による計算
 - 3.3 投資採算性検討の境界の考え方
 - 3.4 リスクマネジメント
 - 3.5 感度分析
 - 3.6 投資判断

【WEBセミナーとは?】

- ・本講座は「Zoom」を使ったライブ配信セミナーです。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Webブラウザから参加するかの2種類がございます。Zoom 接続テストの手順(<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
- ・タブレットやスマートフォンでも受講可能ですが、機能が制限される場合があります。
- ・お申込み後は、弊社よりお申し込み内容確認メールをお送りします。
- ・セミナーの資料(テキスト)は事前にPDFでお送りします。
- ・セミナー開催日の数日前に、視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴下さい。

『化学プロセスコスト【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。			
		<input type="checkbox"/> Eメール	<input type="checkbox"/> 郵送

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。
セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>
個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>